

2023.12.08

倉吉農業高校で出前講座を開催しました

鳥取県立倉吉農業高等学校 出前講座 実施計画

1. 講座名 インフラの維持管理
2. 目的 橋梁点検の実習を通じて、建設業への関心を高める
3. 日時 令和5年12月8日(金)9:10~10:40
4. 対象者 県立倉吉農業高校 環境科 森林土木設計コース 2年生5人
5. 場所 講義 県立倉吉農業高校教室
実習 国道313号不入岡大橋
6. 主催 鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会(事務局:公益財団法人鳥取県建設技術センター)
7. 計画・実施 鳥取県コンクリート診断士会
8. その他 生徒にクラックスケールをプレゼント(鳥取県コンクリート診断士会より)

日 程 表

実習科目	時間	講師
○講義 ・インフラ維持管理の基礎 ・橋梁点検実習の説明	9:10~9:40	鳥取県コンクリート診断士会 (西谷技術コンサルタント株式会社)
(実習現場へバスで移動 : 生徒は作業着とヘルメット着用のこと)		
○体験実習 ①地上からのコンクリート調査 ・RCレーダーによる鉄筋探査 ・クラックスケールによるひび割れ幅測定	9:50~10:00 (10分)	①鳥取県コンクリート診断士会 (西谷技術コンサルタント株式会社)
②地上からのコンクリート調査 ・シュミットハンマーによるコンクリート強度推定 ・コンクリートの打音調査(不良コンクリート片)	10:00~10:10 (10分)	②鳥取県コンクリート診断士会 (馬野建設株式会社)
③高所作業車によるコンクリート調査 ・コンクリートの打音調査 ・鋼橋桁の板厚測定	10:10~10:25 (15分)	③鳥取県コンクリート診断士会 (株式会社 MASUDA)
④ドローンによるコンクリート調査 ・ドローン撮影画像のリアルタイム地上確認	10:25~10:35 (10分)	④鳥取県コンクリート診断士会 (西谷技術コンサルタント株式会社)
○質疑応答	10:35~10:40 (5分)	
(学校へバスで移動)		

ふにおか
実習現場位置図（国道313号 不入岡高架橋）



実習現場写真



実習科目 配置図

側面図



平面図



実習状況



村下講師による講義
(インフラ維持管理の基礎)



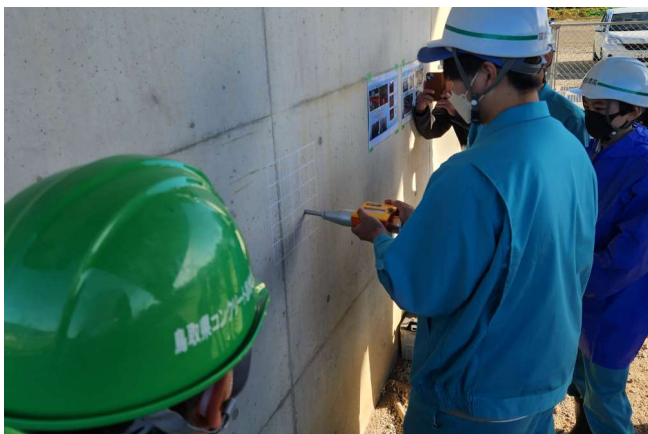
村下講師による講義
(インフラ維持管理の基礎)



コンクリート調査
(RCLレーダーによる鉄筋探査)



コンクリート調査
(クラックスケールによるひび割れ幅測定)



コンクリート調査
(シュミットハンマーによるコンクリート強度推定)



コンクリート調査
(空洞のある不良コンクリート塊の打音調査)



高所作業車によるコンクリート調査



高所作業車によるコンクリート調査
(コンクリート床板の打音調査)



高所作業車によるコンクリート調査
(ノギスによる鋼橋桁の板厚測定)



コンクリート調査
(ドローン撮影画像のリアルタイム地上確認)



集合写真
(ドローンから撮影した実習現場)



生徒代表から講師へお礼のあいさつ

担い手協議会

インフラ維持を高校生に

コンクリ診断士会が講座

県建設分野担い手確保・育成連絡協議会(河田英明会長)は8日、県立倉吉農業高等学校の生徒を対象にインフラ維持管理についての出前講座を開いた。

講師を県コンクリート診断士会(田中孝志会長)が務め、同校環境科森林土木設計コースの2年生4人にイン

フラ維持整管理を通じた建設業の魅力を伝えた。座学では、インフラ維持管理の基礎を説明し、橋梁点検の方法や補修工事について解説。体験実

習では、国道313号の不入岡大橋で生徒たちが橋梁のコンクリートをシュミットハンマーで強度推定したり、RCレールを使い内部の鉄筋を

探査。また、高所作業車に乗り、鋼橋桁の板厚測定などを体験。

田中会長は「これから重要になるインフラ維持管理について学んでもらい、またドローンなどの最新技術に触れることで建設業界に興味を持ってもらえたら」と話した。



シュミットハンマーでの強度推定を体験する学生たち